



Mrs. GREEN APPLE / Omoiotake / timelesz
小山実稚恵 / けいちゃん / naco / 南杏佳 他

月刊ピアノ

monthly

Piano

2025年6月20日発行(毎月1回20日発行)通巻348号

特集1 コンサート当日のリアル!

ピアニストたちの舞台裏

西村由紀江 / 小原 孝 / みやけん / ニュウニュウ / Budo / なで肩のモD / 山口めろん / 小林萌花

2025
6

特集2

茂木大輔 × 高木凜々子 × Budo
“パガニーニ”を語る



Piano Score Selection

- ♪ クスシキ Mrs. GREEN APPLE
- ♪ ひとりごと Omoiotake
- ♪ Rock this Party timelesz
- ♪ わたしの一番かわいいところ
FRUITS ZIPPER
- ♪ 怪獣 サカナクション
- ♪ CHE.R.RY YUI (電P ver.)
- ♪ 名探偵コナンメイン・テーマ
(入門サビだけ)
- ♪ いつか王子様が (ジャズ・アレンジ)
- ♪ 道化師のソネット さだまさし
- ♪ あなた 小坂明子
- ♪ Room335 ラリー・カールトン
- ♪ ムーン・リバー ヘンリー・マンシーニ
- ♪ 道化師のギャロップ
カバレフスキー (連弾)
- ♪ 交響曲 第6番「田園」第1楽章より
ベートーヴェン

Interview

小山実稚恵
けいちゃん
naco / 南杏佳

県木の能登ヒバを活用したグランドピアノを復興のシンボルに

能登ヒバグランドピアノ寄附受納記念演奏会

3/25(火)、県庁展望ロビーで「能登の森ピアノ」のお披露目演奏会が開催された。



写真ではブラインドが閉じられているが、逆サイドの窓には雄大な景色が広がる。地上約80mの展望ロビーは東西南北360度ガラス張りの窓になっており、晴れた日には立山連峰まで見えることも。開放時間(年末を除く):午前10時~午後8時

「能登の森ピアノ」の明るい音色が復興のシンボルとなることを願い、記念演奏会では地元出身のピアニストの演奏やいしかわジュニアオペラアカデミーによる合唱などが披露された。



能登ヒバ楽器プロジェクト「ATENOTE」

演奏会場に展示された能登ヒバ楽器。バイオリンやギター、ラップハーブなどさまざまな楽器が能登ヒバを活用して製作されている。



譜面台、響板、屋根に能登ヒバを使用

能登ヒバの響板は楽器メーカーにとっても初の試みだったが、低音部の温かみと輝くような高音部による美しい音色を作り出した。譜面台と屋根には美しい木目が活かされている。

グランドピアノの心臓部と呼ばれる響板に能登ヒバを活用した「能登の森ピアノ」が、石川県庁展望ロビーに登場。能登半島地震の復興支援を目的に製作されたピアノとして注目されている。

能登の森を想起させる 特注カラーのフォレストグリーン

昨年元旦に起きた能登半島地震の復興を願い、石川県庁展望ロビー室に常設された「能登の森ピアノ」。金沢市の木材販売会社フルタニランバーがヒバ材を提供し、静岡の楽器メーカーと協力して製作した。

能登ヒバを響板に使ったグランドピアノは世界に1台だけ。「楽器メーカーも、グランドピアノの響板に能登ヒバを採用するのは初めての試みでしたが、最初の1音を聴いて「これはイケる!」と好感を持っていただけでした」と、フルタニランバーの古谷隆明社長。

「地元産の能登ヒバを持続可能な木材と

して活用し、地域活性化に繋げたい」と、以前から楽器プロジェクト「ATENOTE」を推進していた。石川県立図書館に設置されていたアップライトピアノも同プロジェクトから生まれたものだ。

別名「アスナロ」とも呼ばれる針葉樹のヒバは極めて生育スピードが遅く、幹の直径が40cm程度になるまで100年近くかかる。防湿・防虫効果に高く、高級建材として優れた性質を持つが、育てる労力も杉などに比べて倍以上とあって、生育の担い手は減る一方だった。

国内のヒバ生産地は能登と青森に集中している。それだけに、能登半島地震による影響は甚大だった。土砂で埋まった林道は

未だ手付かずで、林業関係者が能登の森に入れない状態が続いている。「ATENOTE」に参加していた製材所も被災し、丸太出材量も6割ほどに落ちている。「県外に避難したまま戻って来られない林業関係者も多く、廃業した会社もあります」と古谷社長が言うように復興の道筋は見えていない。

だからこそ「能登復興への想いを伝えたい」と外装カラーにもこだわった。写真では黒色に見えるが、能登の森をイメージさせるフォレストグリーン(深緑色)の特注カラーで仕上げている。

「さまざまな人を繋ぎ、希望と福音を与えてくれる音楽の力は大きい」と楽器製作に力を注ぐ古谷社長。「能登の森ピアノ」の音色が多くの人を癒し、復興へのシンボルとなることを願っている。